夢倉庫赤レンガ

函館

発行日
3月16日
発行者
新田あゆ

鬼の副長!?土方歳三

「鬼の副長」として恐れられた土方歳三は一八三五年武蔵国多摩郡に生まれました。十人兄弟の末っ子である歳三は両親を早くに亡くしたため、次男の喜六とその妻によって養育されました。そして、一八六三年、近藤勇とともに、浪士組に志願し、京都へ行きます。

その年の八月、壬生浪士組へ新選組の名前の活躍が認められ、近藤勇を隊長、歳三を副長とする。新選組が発足します。一八六四年、池田屋事件で、名を広げると、一八六七年、歳三は幕臣に取り立てられます。

しかし、翌年、戊辰戦争が勃発。新選組も戦いますが敗北してしまいます。十月十二日、歳三は、命がある限り、どこまでも戦うことを決意し、榎本武揚らと共に、蝦夷へ渡りました。一八六九年、新政府軍が北海道上陸。五稜郭で、箱館総攻撃が開始されます。歳三は馬上で指揮をとっていましたが、銃弾に倒れました。三十五年の短い生がいでした。

金森赤レンガ倉庫

JR函館駅から徒歩十五分の所に、金森赤レンガ倉庫があります。今から百年以上前に、大分県出身の渡辺熊四郎が明治時代となり、創設した「金森洋物店」から、レンガ倉庫の歴史が始まりました。

明治四十年、函館市で発生した火災で、ここなど六棟が類焼します。この火災は、新館の三分の二にあたる建物が焼けました。

そんな大火から復興しますが、輸送の形態の変化、北洋漁業の衰退などの倉庫で、かつての賑わいを失います。しかし、建造物として映画、CM、テレビなどに、風情のある姿が映しだされ、知名度が高まりました。そして、昭和六十三年四月、名前を「金森赤レンガ倉庫」とし、現在に至ります。

今では、年間西五十万人から二百万人がおとずれる函館の新名所となっています。金森赤レンガ倉庫一帯は、ベイエリアといわれています。その中には、雑貨、アンティークショップ、飲食店、コンサートなどを行うホールなど、たくさんの建物があります。

ラッキーピエロ

函館では、このお店が人気の店。他のハンバーガーショップがほとんどないそうです。そんなラッキーピエロの人気メニューは、チャイニーズチキンバーガー。一位がチャイニーズチキンバーガー、二位がラッキーエッグバーガーでした。

二位から三位……ぜひ食べてみたい、おいしそうなものばかりです。一万人、海のお家と……函館名物「土方歳三ホタテバーガー」……

ハリストス正教会

日本正教会の最初の中でも、日本伝道の歴史をもつ函館の教会の一つ、函館ハリストス正教会。キリスト教の復活を記念して建てられました。一八六〇年、聖堂が建立されました。しかし、一九〇七年、明治四〇年の火災で焼失してしまいます。

その後、一九一六年、再建され、一九八三年、重要文化財に指定されました。

そして、一九八八年、大修復工事によって、復元されました。そんな歴史をもつ函館ハリストス正教会は、一かいこかいという名前で親しまれています。聖堂の鐘の音から、そう呼ばれるようになりました。

旧函館公会堂

旧函館公会堂は、一九〇七年、火災で焼失した町会所の代わりとして、約五万八千円かけて建築された、洋風の建物です。本館は、擬洋風の建物が多くなることから、歴史的な価値が評価され、重要文化財に指定されました。

昔は、函館市公会堂として使用されていましたが、現在はコンサートホールなどとしても使用しています。衣装を貸し出して、人気の観光スポットとなっているようです。

一九〇七年八月二十五日、函館市で火災が発生しました。焼失面積百坪、焼失家屋八千九百余、死者八名。このような大火災は、函館市では、昭和九年など、他にも多く発生しています。